



2年ぶりの甲子園出場を奪還

県下から73校が集い、7月10日から開幕した「全国高校野球選手権記念岩手大会」。秋1回戦、春3回戦敗退の雪辱を果たすべく臨む。

緒戦2回戦の金ヶ崎高校から始まり、久慈高校、花巻南、久慈工業、盛岡四高を退け、決勝戦では宿敵盛岡大附を5対1で破り優勝!

みんなの力で念願の2年ぶり7回目の夏の甲子園出場を手にした。



4年ぶり全国4強の報告会、開催される

8月24日、花巻市総合体育館にて「第95回全国高校野球選手権記念大会 ベスト4報告会」が行なわれ、夏のナインの活躍をねぎらった。

会場には約1,500名の県民・市民が集まり、佐々木洋監督を先頭に堂々と入場した選手たちを温かい拍手で迎え、大石満雄花巻市長ほか、たくさんの来賓の方々も来場され、華やかな報告会であった。



陣ヶ岡選手 ついに達成!

長崎県で開催の北部九州インターハイで、8月18日(日)の100m背泳ぎにて、陣ヶ岡嵐選手は自己ベスト(57秒01岩手県記録・県高校記録)で県勢11年ぶり、高総体最高位の第3位に晴れて入賞。

1週間後の、25日に東京で開催された全国ジュニアオリンピック夏季大会でも第3位で、全国の表彰台に続けて立つ。



防災意識の啓蒙と復興教育を実施

9月2日からの、本校安全防災週間に合わせ、5日、本校45年度卒業生の千葉榮先生を講師に迎え「安全防災セミナー」が実施された。

先生は、今年の3月まで釜石大槌地区消防本部消防長を務められており、実体験した東日本大震災その後の津波の脅威などについて、常に災害から自らを守る意識を持つことの重要性について生徒やPTA会員に説かれた。